

公益社団法人神奈川県病院薬剤師会
平成 29 年度事業計画

I. 公益目的事業

公 I

一般市民に良質な医療と健康的な生活を提供するために、薬事・公衆衛生に関すること、医療薬学等の学術の進歩発展に関すること、薬剤師の資質向上に関することなどを行う事業

1) 薬事・公衆衛生に関する正しい知識の普及・啓発を行う事業

＜定款上の根拠 第2章、第4条3)、6)、8)＞

市民講座や相談会、体験学習会の開催及び協力、薬事関連資料の作成・配布等（ホームページを含む閲覧資料）により、一般市民に対して正しい薬事・公衆衛生に関する知識の普及を目的としている。同時に薬剤師職能に対する広報を行い、一般市民が気軽に相談できる環境を整える事を目的としている。

1.市民公開講座・体験学習会およびくすり相談に関すること

目的：一般市民を対象とした医薬品に関わる講演会を開催（関連団体と共催）する。また、「くすり相談」を実施し、一般市民への医薬品に関わる正しい知識の普及・啓発活動を行い、一般市民の健康管理、薬事知識の向上に寄与すると共に、展示物・配布物などを通して薬剤師の職能について一般市民への理解を深める。

内容 ・ 「くすり市民講座」の開催

時期	第1回 平成29年7月下旬（予定） 第2回 平成29年11月（予定）
内容	第1回 題名のとおり 第2回 「市民公開講座」
場所	第1回 横浜市情報文化センター（予定） 第2回 横浜市開港記念会館（予定）
回数	年2回
対象・人数	第1回 一般市民 約100名程度 第2回 一般市民 約100名程度
参加費	第1回、第2回 無料
実施形式	第1回 座学 第2回 座学
担当委員会	第1回 GTA委員会 第2回 総務会（神奈川県薬剤師がん疼痛緩和研究会との共催）

・一般市民を対象とした病院体験学習の開催

時期	平成29年8月（夏休み期間中を予定）
内容	題名の通り

場所	GTA 委員施設
回数	年 1～2 回
対象・人数	一般市民（県内在住・在学の中学生および高校生）15 名程度
参加費	無料
実施形式	実習形式
担当委員会	GTA 委員会

・「かながわ薬剤師学術大会」における「市民公開講座」の開催

時期	平成 30 年 1 月 14 日（日）（予定）
内容	未定
場所	パシフィコ横浜会議センター（予定）
回数	年 1 回
対象・人数	一般市民 約 800 名程度
参加費	無料
実施形式	座学
担当委員会	学術情報委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催）

・「かながわ薬剤師学術大会」における「市民相談」の開催

時期	平成 30 年 1 月 14 日（日）
内容	題名の通り
場所	パシフィコ横浜会議センター（予定）
回数	年 1 回
対象・人数	一般市民 約 200 名程度
参加費	無料
担当委員会	学術情報委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催）

・「くすりと健康すこやかフェア：横浜」の開催

時期	平成 29 年 10 月 26 日（木）予定
内容	題名の通り
場所	横浜そごう前新都市プラザ
回数	年 1 回
対象・人数	一般市民 約 1,500 名程度
参加費	無料
担当委員会	GTA 委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会、横浜市薬剤師会、公益社団法人神奈川県医薬品配置協会、神奈川県製薬協会と共催）

・電話による「くすり相談」の実施

時期	毎週月曜日～金曜日（受付：事務局 10 時～16 時、12 時～13 時は除く）
内容	題名の通り
場所	GTA 委員施設
回数	随時

対象・人数 一般市民
参加費 無料
担当委員会 GTA 委員会

- ・市町村及び関係団体依頼の「講演会」への協力・「くすり相談」等の実施

時期 随時（地方公共団体及び関係団体からの依頼時）
内容 題名の通り
場所 依頼施設
回数 随時

対象・人数 一般市民
参加費 無料
担当委員会 GTA 委員会

- ・病院薬剤師の職能に対する広報（展示パネルの整備、マンガ病院薬剤師物語の配布）

時期 随時
内容 題名の通り
場所 未定
回数 展示パネルの貸出：随時、マンガ病院薬剤師物語の配布：随時

対象・人数 一般市民
参加費 無料
担当委員会 GTA 委員会

事業の財源：参加費および相談料は無料とし、費用には会費、補助金、寄付金を充てる

2.患者向け情報提供に関すること

目的：「患者・一般市民からの医薬品に関わる質問に積極的に答えよう」という活動のもと、医薬品に関わる正しい知識の普及・啓発を目的として、小冊子「あなたのくすりと健康」（視覚障がい者のための音声コード印刷版）を発行するなど情報提供を行う。

内容 ・小冊子「あなたのくすりと健康」（音声コード印刷版）の発行

時期 平成 29 年 6 月、9 月、12 月、平成 30 年 3 月
内容 題名の通り
場所 一般市民、会員施設、市町村公共施設、視覚障がい者の団体に配布
回数 年 4 回
対象・人数 一般市民、部数 10,000 部
担当委員会 GTA 委員会

- ・神奈川県病院薬剤師会ホームページによる医薬品情報の普及・啓発

時期 随時
内容 題名の通り
場所 神奈川県病院薬剤師会ホームページ上
回数 随時

対象・人数 一般市民
担当委員会 GTA 委員会

事業の財源：配布は無償とし、費用には会費、補助金、寄付金を充てる

3.公衆衛生に関する普及・啓発

目的：各医療機関で実施される看護週間の催し、献血事業・禁煙支援などの公衆衛生事業に積極的に協力するよう、広く医療従事者に呼びかけを行い、一般市民の健康管理、薬事知識の向上に寄与する。また、麻薬・覚せい剤・大麻の不正使用をなくすために、一般市民への呼びかけを行う。

内容 ・看護週間への協力（参加の呼びかけ、くすり相談コーナー設置への対応、資材の貸出等）

時期 平成 29 年 5 月

内容 題名の通り

場所 会員施設

回数 年 1 回

対象・人数 一般市民

参加費 無料

担当委員会 GTA 委員会

・禁煙支援に関すること

時期 通年

内容 日本病院薬剤師会「禁煙推進宣言」および神奈川県が推進している卒煙（禁煙）サポート事業に基づき、禁煙支援に関する情報を提供する

場所 神奈川県病院薬剤師会ホームページ上

回数 随時

対象・人数 一般市民

参加費 無料

担当委員会 GTA 委員会

・「かながわ薬剤師学術大会」における献血車配備等による献血事業への協力

時期 平成 30 年 1 月 14 日（日）（学術大会時）

内容 献血事業の協力を行う

場所 パシフィコ横浜会議センター（予定）

回数 年 1 回

対象・人数 一般市民および学術大会参加者 100 名

参加費 無料

担当委員会 GTA 委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催）

・不正麻薬・覚せい剤・大麻撲滅運動の推進

時期	通年
内容	神奈川県薬物乱用防止対策における不正大麻・けし撲滅運動に基づき、大麻・けし等に関する情報を提供する
場所	小冊子への情報掲載、神奈川県病院薬剤師会ホームページ上
回数	随時
対象・人数	一般市民
参加費	無料
担当委員会	GTA 委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄付金を充てる

2) 高度で安心安全な医療を患者が受けられるようにする為の事業

＜定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)＞

神奈川県内の医療現場では、地域性や医療機能が異なると、一般市民が安心安全な薬物療法、良質な薬物療法、高度な薬物療法を受けられない現状がある。患者が神奈川県内どこの病院・地域でも同じレベルの薬物療法が受けられるようにするためには、薬物療法の質の向上やそれに係る地域および施設間格差の是正、薬剤師による薬剤の適正使用への関与が必要である。それを達成するためには、薬剤師の研修を通して薬剤師の能力（高度な薬物療法を評価できる能力、副作用を早期発見する能力、疾患別専門薬物療法を評価する能力、患者への説明能力、処方チェック能力、チーム医療実践能力など）を向上させることが必要であり、そのための研修会、体験型（実習型）研修会等を企画・開催する。

1. 高度で安心安全な薬物療法を受けられるようにするための事業

目的：薬物療法を受ける中で有害事象が起こることがある。それらを早期発見及び重篤化回避するため、高度な知識を持った臨床薬剤師の育成を行う。

内容 ・薬剤に関するリスクマネジメント研修会の開催 （28年度名称変更届け出）

時期	第1回 未定 第2回 平成29年10月（予定）
場所	第1回 未定 第2回 かながわ県民活動サポートセンターホール（予定）
内容	第1回 「県薬とのプレアボイド合同研修会」 第2回 未定
回数	年2回
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 150名程度
参加費	会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
実施形式	座学

担当委員会 第1回 業務検討委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催）
第2回 業務検討委員会

・プレアボイド報告強化月間の実施

時期 平成29年11月（予定）
内容 題名の通り
回数 年1回（1ヶ月）
対象・人数 病院に勤務する薬剤師
実施形式 ポスター配布によるインフォメーション
担当委員会 業務検討委員会

・プレアボイド報告実例集の作成

時期 適宜（今年度は配布のみで作成は行わない）
内容 題名の通り
回数 適宜
発行部数 1,000部
対象・人数 病院に勤務する薬剤師、国立国会図書館、薬科大学（関東）など
参加費 希望施設に無料配布（既刊実例集は在庫限り）
担当委員会 業務検討委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄付金を充てる

※プレアボイド：薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を集積及び解析し、考察を加えることによって、薬剤師の資質向上を図る。

2. 複雑化・高度化した医療に対応するための事業

目的：疾病構造の急激な変化、医療・薬物療法の複雑化・高度化した現状において、地域および施設間格差があり、一般市民が標準的な医療を受けることができていない現状がある。そのような状況を是正するためには、どこの病院においても幅広い知識と高い専門性をもった薬剤師を育成する必要がある、そのための事業を行う。

内容 ・がん専門薬剤師セミナーの開催

時期 第1回 平成29年4月
第2回 平成30年3月
内容 第1回 題名の通り
第2回 題名の通り
場所 第1回 かながわ県民センター
第2回 未定
回数 2回
対象・人数 専門・認定薬剤師を目指している病院薬剤師 300名

参加費	会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円
実施形式	座学
担当委員会	専門・認定薬剤師養成支援特別委員会（がん領域）
	・がん薬物療法認定薬剤師・がん専門薬剤師ワークショップの開催
時期	第 1 回 平成 29 年 5 月 第 2 回 平成 29 年 7 月 第 3 回 平成 29 年 9 月 第 4 回 平成 29 年 11 月 第 5 回 平成 30 年 2 月
内容	第 1 回 題名の通り 第 2 回 題名の通り 第 3 回 題名の通り 第 4 回 題名の通り 第 5 回 題名の通り
場所	未定
回数	5 回
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している病院薬剤師 各 60 名
参加費	会員：2,500 円 非会員：日本病院薬剤師会会員 5,000 円 上記団体に属さない非会員 7,500 円
実施形式	座学、SGD
担当委員会	専門・認定薬剤師養成支援特別委員会（がん領域）
	・感染制御認定薬剤師講習会の開催
時期	第 1 回 平成 29 年 5 月 第 2 回 平成 29 年 7 月 第 3 回 平成 29 年 9 月 第 4 回 平成 29 年 11 月 第 5 回 平成 30 年 1 月
内容	第 1 回 題名の通り 第 2 回 題名の通り 第 3 回 題名の通り 第 4 回 題名の通り 第 5 回 題名の通り
場所	未定
回数	5 回
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している病院薬剤師 各 60 名

参加費 会員：2,500 円
 非会員：日本病院薬剤師会会員 5,000 円
 上記団体に属さない非会員 7,500 円

実施形式 座学、SGD

担当委員会 専門・認定薬剤師養成支援特別委員会（感染領域）

・精神科薬物療法認定薬剤師講習会の開催

時期 第1回 平成29年7月(予定)
 第2回 平成29年12月(予定)

内容 精神科領域の薬物療法に関すること

場所 第1回 横浜市社会福祉センター（予定）
 第2回 横浜市社会福祉センター（予定）

回数 年2回

対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 各100名程度

参加費 会員：500 円
 非会員：日本病院薬剤師会会員 1,000 円
 上記団体に属さない非会員 1,500 円

実施形式 座学

担当委員会 中小病院診療所委員会

・専門性向上のための研修会の開催

時期 第1回 平成29年8月（予定）NST（Nutrition Support Team）研
 修会
 第2回 未定
 第3回 未定
 第4回 未定
 第5回 未定
 第6回 未定
 第7回 平成29年7月（予定）

内容 第1回 NSTについて
 第2回 褥瘡について
 第3回 漢方について
 第4回 緩和ケアについて
 第5回 アロマセラピーについて
 第6回 精神薬学について
 第7回 がん疼痛緩和について

場所 第1回 NST研修会：かながわ県民センター（予定）
 第2回 未定
 第3回 未定
 第4回 未定

	第5回	未定
	第6回	未定
	第7回	ワークピア横浜（予定）
回数	年	7回
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者	
	第1回	200名
	第2回	100名
	第3回	未定
	第4回	未定
	第5回	未定
	第6回	未定
	第7回	約150名
参加費	第1回	会員：1,000円 非会員：日本病院薬剤師会会員 1,500円 上記団体に属さない非会員 2,000円
	第2回	会員：2,000円 非会員：日本病院薬剤師会会員 2,500円 公益社団法人神奈川県薬剤師会会員 2,000円 上記団体に属さない非会員 3,000円
	第3回	未定
	第4回	未定
	第5回	未定
	第6回	未定
	第7回	会員：1,000円 非会員：共催団体と協議の上決定する予定
実施形式	第1回	座学
	第2回	ワークショップ
	第3回	未定
	第4回	未定
	第5回	未定
	第6回	未定
	第7回	座学
担当委員会	第1回	NST研修会：教育研修委員会
	第2回	褥瘡研修会：業務検討委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催）
	第3回	漢方EBM研究会：中小病院委員会、総務会
	第4回	横浜北部緩和ケアチーム研究会：中小病院委員会、総務会
	第5回	日本アロマセラピー学会薬剤師部会研修会：中小病院委員会、

総務会

第6回 精神薬学研究会：中小病院委員会、総務会

第7回 がん疼痛緩和研究会学術セミナー：総務会（神奈川県薬剤師
がん疼痛緩和研究会と共催）

・TDM（薬物血中濃度モニタリング：Therapeutic Drug Monitoring）研修会の開催

時期 平成29年9月(予定)
内容 中小病院におけるTDM業務推進・支援に関すること
場所 横浜市社会福祉センター（予定）
回数 年1回
対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 100名
参加費 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500円
上記団体に属さない非会員 1,000円

実施形式 座学

担当委員会 中小病院診療所委員会

・患者特性に応じた薬物療法研修会の開催

時期 第1回 平成29年11月
第2回 未定
内容 第1回 未定
第2回 腎・泌尿器に関する薬物治療関係
場所 第1回 未定
第2回 未定
回数 年2回
対象・人数 第1回 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 100名
第2回 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 100名
参加費 第1回 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500円
上記団体に属さない非会員 1,000円
第2回 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500円
上記団体に属さない非会員 1,000円

実施形式 第1回 座学

第2回 座学

担当委員会 第1回：教育研修委員会

第2回：業務検討委員会（「腎と薬物治療研究会」と共催）、総務会

・医薬品情報スキルアップ講座の開催

時期 平成29年6月予定
内容 未定

- | | |
|-------|---|
| 場所 | AP 横浜駅西口 |
| 回数 | 年 1 回 |
| 対象・人数 | 薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 200 名 |
| 参加費 | 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円
上記団体に属さない非会員 1,000 円 |
| 実施形式 | 座学 |
| 担当委員会 | 学術情報委員会 |
- ・医薬品情報研修会の開催
- | | |
|-------|---|
| 時期 | 平成 29 年 10 月予定 |
| 内容 | 未定 |
| 場所 | 未定 |
| 回数 | 年 1 回 |
| 対象・人数 | 薬学的・専門的な知識を有する者またはその教育関係者 200 名 |
| 参加費 | 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円
上記団体に属さない非会員 1,000 円 |
| 実施形式 | 座学 |
| 担当委員会 | 学術情報委員会 |
- ・D I (Drug Information) ワークショップの開催
- | | |
|-------|---|
| 時期 | 平成 29 年 11 月予定 |
| 内容 | 未定 |
| 場所 | 未定 |
| 回数 | 年 1 回 |
| 対象・人数 | 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 60 名 |
| 参加費 | 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円
上記団体に属さない非会員 1,000 円 |
| 実施形式 | SGD |
| 担当委員会 | 学術情報委員会 |
- ・地区研修会、療養病床対象、診療所対象研修会等の開催
- | | |
|-------|-------------------------------|
| 時期 | 未定 |
| 内容 | 未定 |
| 場所 | 未定 |
| 回数 | 年 9 回 |
| 対象・人数 | 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 80 名 |
| 参加費 | 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円 |

上記団体に属さない非会員 1,000 円

実施形式	座学および SGD
担当委員会	中小病院診療所委員会
・病院・診療所・薬局実務者講習会の開催	
時期	平成 30 年 1 月第 4 週 (6 日間予定)
内容	題名の通り
場所	総合講習 (2 日間) 神奈川県総合医療会館・神奈川県総合薬事保健センター ※初心者コースは 1 月 (神奈川県総合薬事保健センター) 実務実習 (4 日間) 各実習提携病院 ※初心者コースは参加可能な日に実習を行う。
回数	年 1 回
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 60 名
参加費	会員：1,000 円 上記団体に属さない非会員の参加費は規定により共催者同士で検討の上決定する。
実施形式	座学、実務実習
担当委員会	教育研修委員会 (神奈川県薬務課、公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催)
・卒後教育研修会の開催	
時期	第 1 回 平成 29 年 10 月 (予定) 第 2 回 平成 29 年 11 月
内容	第 1 回 未定 第 2 回 未定
場所	第 1 回 未定 第 2 回 未定
回数	年 2 回
対象・人数	第 1 回 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 35 名 第 2 回 薬学的な専門知識を有する者 (卒後 3 年以内の薬剤師) 50 名
参加費	第 1 回 会員：1,000 円 非会員：日本病院薬剤師会会員 1,500 円 上記団体に属さない非会員 2,000 円 第 2 回 会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円
実施形式	第 1 回 座学及び SGD

第2回 座学及びSGD
 担当委員会 第1回 教育研修委員会
 第2回 業務検討委員会

・薬学研修会の開催

時期 毎月（第3木曜日）（予定）
 内容 未定
 場所 かながわ県民センター など
 回数 年12回
 対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者
 参加費 会員：無料
 非会員：日本病院薬剤師会会員 500円
 上記団体に属さない非会員 1,000円
 実施形式 座学
 担当委員会 教育研修委員会

・医療施設研修所実地研修会の開催

時期 平成29年6月（予定）
 内容 題名の通り
 場所 テルモメディカルプラネックス
 回数 年1回
 対象・人数 40名
 参加費 会員：2,000円
 非会員：3,000円
 実施形式 座学及び見学実習
 担当委員会 教育研修委員会

・研修認定薬剤師制度の推進（シール発行）

時期 随時（日本病院薬剤師会生涯研修の認定申請は年度始め）
 内容 題名の通り
 回数 随時（シール発行）年1回（日病薬に申請）
 対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者
 参加費 無料
 担当委員会 教育研修委員会

・「薬剤業務関連冊子」の作成

時期 随時
 内容 題名の通り
 場所 ー
 回数 随時配布
 対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者
 参加費 会員施設は無料、非会員の希望施設には実費で配布

担当委員会 関係各委員会

事業の財源：費用には会費、参加費、補助金、寄付金を充てる

がん専門薬剤師セミナー、がん薬物療法認定薬剤師・がん専門薬剤師ワークショップ、感染制御認定薬剤師講習会、精神科薬物療法認定薬剤師講習会、NST 研修会、褥瘡研修会、病院・診療所・薬局実務者講習会、卒後教育研修会、医療施設研修所実地研修会は参加費を徴収する。

3.医療の質に関する調査

目的：薬物療法は、地域および施設間によって医療の質の格差があってはならない。患者が標準的な医療を受けられる事が理想である。医療の質（薬物療法の質）の向上を目的として現状を把握し、これらを分析することで地域及び施設間格差への対応を図る。更にそこから得られた有益な情報を各施設のみならず学術誌等に広く公表し還元する。

内容 ・医療の質に関する調査

時期	第1回 平成29年10月 (内容：薬剤業務に関するアンケート調査) 第2回 平成30年3月 (内容：TDM(薬物血中濃度モニタリング：Therapeutic Drug Monitoring)の実施状況に関するアンケート調査) 第3回 必要時
内容	未定
回数	年2回 及び必要時
対象・人数	対象となる施設、団体及び個人
結果公表先	各種学会、会誌およびホームページなど
担当委員会	調査に関係する各委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄付金を充てる

4.医薬分業支援に関する事業

目的：医薬分業の進展において、処方せんを発行する医療機関側とそれを受け取る保険薬局薬剤師との説明が相違し患者が混乱している状況がある。そのため院外処方せん発行増加により疑義(用法用量・疾患への適応・使用上の注意事項など)が増えており、保険薬局薬剤師は、患者情報不足から薬物療法が適切に評価できない状況にある。また、薬物療法の内容について、入院中と退院後の外来通院時の情報提供内容が一致するように院内と院外の薬剤師が連携する必要がある。そのような状況下における患者の不利益を回避することを目的とし、双方の薬剤師同士の情報共有を充実させるために事業を行う。

内容 ・他団体との合同研修会の開催

時期	第1回～第3回 未定 第4回 未定
内容	第1回～第3回 未定

	第4回 未定
場所	第1回～第3回 小田原市保健センター（予定）
	第4回 未定
回数	年4回
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 各100名程度
参加費	会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円 共催相手の会員は原則無料とするが、非会員の参加費は規定により共催者同士で検討の上決定する。
実施形式	座学
担当委員会	第1回～第3回 中小病院診療所委員会（公益社団法人小田原薬剤師会と共催） 第4回 総務会・業務検討委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催）

事業の財源：費用には会費、参加費、補助金、寄付金を充てる

3) 薬学生教育に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)>

病院等における薬学生実務実習の現状調査、実習指導薬剤師の養成、実習指導書等の作成・頒布、受け入れ医療機関への支援を行うことで、臨床での卒前教育を促進し、薬学生教育に寄与する。これらをもって薬剤師としての倫理観、医療現場での実践能力を高め、臨床能力のある薬剤師を養成することを目的としている。

1. 薬学生教育のための調査・調整に関する事

目的：病院実習（病院実務実習、早期体験実習、アドバンスト病院実習、その他薬学生の実習、見学実習等）に関する問題点、受け入れ状況を把握するために、薬学生受け入れ医療機関、薬学生所属薬科大学、新卒薬剤師、関係者等に対して調査を行い、実習内容の充実と質の向上を図る。

内容 ・病院実務実習における問題点抽出のためのアンケート調査の実施

時期 平成30年1月（予定）

内容 題名の通り

回数 年1回

対象・人数 会員施設、24大学など

結果公表先 当会雑誌およびホームページ

担当委員会 薬学生病院実習検討委員会

・薬学生受入れに関する実態把握のためのアンケート調査の実施

時期 平成30年1月（予定）

内容	題名の通り
回数	年1回
対象・人数	会員施設、24大学など
結果公表先	当会雑誌およびホームページ
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会
・病院実務実習における問題点抽出のためのワークショップ形式調査の実施	
時期	29年度は実施しない
内容	題名の通り
場所	—
回数	年1回
対象・人数	6年制の課程を修了した薬剤師24名
結果公表先	当会雑誌、ホームページその他学会誌等
参加費	会員：500円 非会員：日本病院薬剤師会会員 1,000円 上記団体に属さない非会員 1,500円
実施形式	SGD
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会
・公益社団法人神奈川県薬剤師会、関東地区病院・薬局実務実習調整機構との情報交換	
時期	随時
内容	題名の通り
場所	神奈川県総合薬事保健センター他
回数	年6回程度
対象・人数	公益社団法人神奈川県薬剤師会18名（うち会員1名）、関東地区病院・薬局実習調整機構の会員74名他（うち会員1名）
参加費	無料
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会

事業の財源：費用には会費、参加費、補助金、寄付金を充てる

2. 認定実務実習指導薬剤師（※）養成事業に関する事

目的：薬学生を病院で教育するために認定実務実習指導薬剤師を養成する。

内容・認定実務実習指導薬剤師養成事業における講習会の開催

時期	未定
内容	題名の通り
場所	横浜市立大学附属市民総合医療センター、神奈川県総合薬事保健センター多目的ホール等（予定）
回数	年3回（予定）
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者約400名

- | | |
|-------|--|
| 参加費 | 会員及び共催団体の会員：500 円
非会員：日本病院薬剤師会会員 1,000 円
上記団体に属さない非会員 1,500 円
(協議により按分) |
| 実施形式 | 座学等 |
| 担当委員会 | 薬学生病院実習検討委員会（公益社団法人神奈川県薬剤師会等と共催） |
- ・認定実務実習指導薬剤師（※1）養成事業におけるワークショップの開催
- | | |
|-------|--|
| 時期 | 未定（調整機構の会議を経て決定） |
| 内容 | 題名の通り |
| 場所 | 横浜薬科大学、昭和薬科大学キャンパス他 |
| 回数 | 年3回予定（調整機構の会議を経て決定）
養成コース1回、アドバンストコース2回 |
| 対象・人数 | 薬剤師約160名 |
| 参加費 | 会員・非会員 共催団体と協議の上決定する |
| 実施形式 | ワークショップ |
| 担当委員会 | 薬学生病院実習検討委員会（病院・薬局実務実習関東地区調整機構主催、公益社団法人神奈川県薬剤師会、横浜薬科大学、昭和薬科大学等と共催） |
- ・実務実習に関する説明会の開催（※2）
- | | |
|-------|--|
| 時期 | 未定 |
| 内容 | 題名の通り |
| 場所 | 神奈川県総合薬事保健センター多目的ホール等（予定） |
| 回数 | 年1回予定 |
| 対象・人数 | 薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者80名程度 |
| 参加費 | 会員：無料
非会員：日本病院薬剤師会会員500円、
上記団体に属さない非会員1,000円 |
| 実施形式 | 座学 |
| 担当委員会 | 薬学生病院実習検討委員会 |

事業の財源：費用には会費参加費、補助金、寄付金を充てる

認定実務実習指導薬剤師養成事業における講習会、認定実務実習指導薬剤師養成事業におけるワークショップでは参加費を徴収する。

※1 認定実務実習指導薬剤師：日本薬剤師研修センターが厚生労働省補助事業として2005年から養成研修事業を実施している（2010年からは独自事業）。薬学部6年制の設置に伴い必修化された長期の薬局病院実務実習に対応するために作られた認定制度である。

※2 これまで、日本薬剤師研修センター、関東地区調整機構、日病薬等関連団体からの情報伝達会を急遽開催しなければならないケースがあった（対応困難な SBOs への対応方法関連の伝達講習、実習指導書の使用方法説明会）ため、予算計上の必要があり、毎年事業計画には載せている。

3. 薬学生病院実務実習関連書籍の作成・頒布

目的：薬学生教育の標準化および質を確保することで、臨床能力のある薬剤師を育成するために薬学生病院実務実習関連書籍の作成および頒布を行う。

内容 ・「薬学生病院実務実習指導書」および「薬学生病院実務実習ノート」の改訂・頒布

時期	随時（29年度は頒布および改定の検討を開始する。作成は行なわない。）
内容	題名の通り
場所	受入施設：郵送等にて無償配布、非会員・学生等：書店にて実費購入
回数	必要時
対象・人数	病院実務実習の受入施設、各薬科大学、日本病院薬剤師会他関連団体に配布
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄付金を充てる

4) 医療薬学などの学術の進歩発展に関する事業

< 定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)、6) >

医療薬学などの医療分野における学術の進歩・発展に寄与するための各種学会の開催・協力、専門誌の発行などを行う。これらをもって、医療水準の向上を図り、一般市民の安心安全な医療を提供することを目的とする。

1. 医療薬学関連学術大会（※）の開催および協力

目的：医療薬学分野における学術大会の開催、その他学術大会への協力を行うことによって、医療薬学などの学術の進歩・発展に寄与し、医療水準の向上と一般市民の安心安全な医療を提供することを目的とする。

内容 ・かながわ薬剤師学術大会の開催

時期	平成 30 年 1 月 14 日(日) (予定)
内容	未定
場所	パシフィコ横浜会議センター (予定)
回数	年 1 回
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 1,500 名
参加費	会員：事前参加登録 3,000 円 (予定)

当日参加 4,000 円 (予定)

非会員：日本病院薬剤師会会員 事前参加登録 5,000 円 (予定)

当日参加 6,000 円 (予定)

上記団体に属さない非会員 事前参加登録 5,000 円 (予定)

当日参加 6,000 円 (予定)

薬学生：1,000 円 (予定)

担当委員会 学術情報委員会 (公益社団法人神奈川県薬剤師会と共催)

・日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会の開催 (10 年毎)

時期 10 年毎に 1 回：今年度は行わない

内容 題名の通り

場所 未定

回数 10 年毎に 1 回 (平成 34 年度予定)

対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 約 3,000 名

参加費 会員：事前参加登録 7,500 円 (予定)

当日参加 8,000 円 (予定)

非会員：日本病院薬剤師会会員：事前参加登録 7,500 円 (予定)

当日参加 8,000 円 (予定)

上記団体に属さない非会員 9,000 円 (予定)

薬学生：2,000 円 (予定)

担当委員会 関東ブロック実行委員会 (日本病院薬剤師会関東ブロック主催)

・神奈川県病院学会への協力

時期 平成 29 年 10 月予定

内容 未定

場所 神奈川県総合医療会館

回数 年 1 回

対象・人数 医療に係る専門知識を有する者またはその教育関係者

参加費 会員・非会員：無料

実施形式 座学

担当委員会 学術情報委員会 (神奈川県病院協会主催)

事業の財源：費用には参加費、会費、補助金、寄付金を充てる。

かながわ薬剤師学術大会、日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会では参加費を徴収する。

※学術大会：メインテーマのもとシンポジウムや特別講演を設定し、参加者との質疑応答を行うほか、広く発表を募り、多方面に渡り研究発表の場を設けている。

2. 神奈川県病院薬剤師会雑誌の発行

目的：医学、薬学領域に関する情報、論文、医薬品情報、教養、行政通知、行政・薬業界の話題

等を掲載している。もって薬剤師の学術的資質向上を図り、医学、薬学領域の学術の振興に寄与する。

内容 ・神奈川県病院薬剤師会雑誌の発行

時期	平成 29 年 7 月、11 月、平成 30 年 2 月発行
内容	題名の通り
回数	年 3 回
対象・人数	会員、関係団体、公共機関等へ配布、部数 3,000 部
参加費	非会員は実費で購入可能
担当委員会	会員・広報出版委員会

*神奈川県病院薬剤師会雑誌の一部を Hp に掲載

5) 災害医療に関する事業

<定款上の根拠 第 2 章、第 4 条 4)>

災害時における防災マニュアル、緊急連絡網などの整備を行い、更に会員施設合同で訓練を行うことで、災害時の医薬品の確保及び人的支援、応急活動等を円滑にするための事業。また災害医療研究会を開催し、災害医療に関する啓発及び有効な対策について検討する。

1.災害医療対策

目的：震度 5 強を越える災害時における防災マニュアル、緊急連絡網の整備並びに訓練。

内容 ・災害時における神奈川県病院薬剤師会の対応

時期	平成 29 年 9 月（予定）
内容	題名の通り
回数	年 1 回
対象・人数	神奈川県内の医療機関（ホームページ内で広報する）
担当委員会	会員・広報出版委員会

事業の財源：費用には会費、補助金、寄付金を充てる

2.災害医療に関する研究会の開催

目的：災害時に、病院薬剤師が一般市民を守るための必要な知識を高め、施設間の連携強化を図る。

内容 ・災害医療における神奈川県病院薬剤師会における対策

時期	平成 29 年 9 月（予定）
内容	未定
場所	かながわ県民センター
回数	年 1 回
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその関係者 100 名
参加費	会員・非会員無料
実施形式	座学

事業の財源：費用には会費、補助金、寄付金を充てる

II. その他の事業（収益事業等）

その他 1

薬剤部門業務支援に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、7)、8)>

目的：薬剤部門支援に関する研修会などを開催し、薬剤師のマネジメント能力の向上、その他薬剤部運営に関する技術の向上を図り、安定した医療活動を提供できるようにするとともに、医療管理学の進歩発展に寄与する。

内容 ・薬剤業務推進のための講演会の開催

時期 平成30年3月頃

内容 未定

場所 未定

回数 年1回

対象・人数 薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 100名程度

参加費 会員：無料

非会員：日本病院薬剤師会会員 500円

上記団体に属さない非会員 1,000円

実施形式 座学

担当委員会 業務検討委員会

・薬剤部（科）管理職指導者研修会の開催

時期 平成30年2月（予定）

内容 題名の通り

場所 未定

回数 年1回

対象・人数 薬剤部（科）管理職及びそれに準ずる者

参加費 会員：1,000円

非会員：日本病院薬剤師会会員 1,500円

上記団体に属さない非会員 2,000円

担当委員会 教育研修委員会

・ファーマシーマネジメント（※1）セミナーの開催

時期 平成29年7月（予定）

内容 未定

場所 かながわ県民センター（予定）

回数 年1回

対象・人数 薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 100名程度

参加費	会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
実施形式	座学
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会
・ バランスト・スコアカード（※2）に関する研修会開催	
時期	平成29年12月および平成30年1月
内容	未定
場所	神奈川県総合薬事保健センター（予定）
回数	年2回
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者で薬剤部門、薬局勤務者40名程度
参加費	会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
実施形式	座学、SGD
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会
・ バランスト・スコアカード普及に関するファシリテーター養成のための講習会の開催	
時期	未定
内容	未定
場所	菊名記念病院（予定）
回数	年2回
対象・人数	本会会員のうちファーマシーマネジメント委員会委員、ファシリテーター希望者 15名程度
参加費	会員：無料 非会員：日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
実施形式	座学、SGD
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会

事業の財源：費用には会費、参加費を充てる

- ※1：ファーマシーマネジメント：病院薬剤部門における各種経営資源（医薬品・物流・コスト・人材・情報・患者安全など）のマネジメントを実践することにより、健全な病院経営に寄与すること。
- ※2： バランスト・スコアカード：企業のもつ重要な要素が企業のビジョン・戦略にどのように影響し業績に現れているのかを可視化するための業績評価手法。病院薬剤業務の評価にも応用している。

その他 2

名簿発行に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条5)、7)>

目的：会員名簿を作成し、会員が常時利用できるようにする。

内容 ・神奈川県病院薬剤師会会員名簿の発行

時期	通年
内容	題名の通り
回数	随時
発行	クラウド上で閲覧可能（パスワード管理）
対象・人数	会員
費用	—
担当委員会	会員・広報出版委員会

*今年度は会員施設と医療圏との調整を行う